

乳幼児保育の

拡充について

創生会

多比良和伸

問 現在、砂川市での保育所事情として、3歳以上の通常保育は市内3箇所のみで、2歳以下は即入所可能な状態ですが、2歳以下の乳幼児保育は度々、定員を満了し、待機児童が見受けられます。

乳幼児保育の拡充に際しては施設基準や人員確保の問題もありますが、今後の保育ニーズは低年齢化していくことが予想されます。現状と今後について伺います。

答 現状乳児の市内定員は17人で、8月で満員となりました。利用傾向としては女性の産休後、早期復職などで乳児の利用申し込みが増えています。その中で乳児室における面積基準の課題等があり、定員を増やすことが困難となります。

保育所の再編集約について、運用の中では、この9月に全体で定員を18名体制でいき、更に、定員を増やすことが出来ないか協議に入っています。それでも解消されなければ、次に改修、その後、再

編を考えていきます。

問 今後、更に乳児保育へのニーズが高まることが予想されますが市長の考え方を伺います。

答 今後は、いかに夫婦共働きし易い体制をつくっていくのかを考えています。

そこで、多子世帯への保育料軽減の拡充をしていきます。この対策を行うことにより、現状の施設で受け入れが可能なのかという課題がありますので、来年度以降推移を見ながら解決に向け考えていきます。



ひまわり保育園乳児保育

地方公会計の

整備について

市民の声

武田 真

問 国より固定資産台帳の整備と複式簿記を前提とした財務書類の作成が要請されていますが、対応状況等について伺います。

答 現在、財務書類の作成は本格的な複式簿記を導入していないことから事業別や施設別の分析ができない、固定資産台帳の整備が不十分といった課題があります。地方公会計改革の意義は、住民や議会、外部に対する財務情報の開示ができ、行政としての説明責任の履行がなされること、予算編成・政策評価に活用し、財政の効率化・適正化が図られることです。現在、資産の棚卸しに向けた準備を進めています。人材育成については、研修会等に担当者が出席し、専門的な知識の研鑽に努め、準備を進めているところです。

ます。効率的な経営を行うため、作成の必要があると考えますが、今後の対応について伺います。

答 中長期的な経営計画は策定していないところですが、変化する医療環境に対応するため、平成26年度には病院事業管理者を設置し、経営管理機能の強化を図りました。経営計画については、健全な経営を実現していく上で必要なものと認識しています。中期の経営計画については、平成28年度中に策定予定の新たな病院改革プランを中期計画として位置づけて策定していきたいと考えています。

砂川市立病院の 経営計画等について

問 砂川市立病院では、経営計画等は作成されていない状況にあり



砂川市立病院

公用車の電気自動車 導入について

市民クラブ

増山 裕司

問 地球温暖化防止、低炭素社会を目指すため、国は電気自動車の普及に取り組んでおり、公用車に電気自動車の導入を検討する時期に来ていると思いますが、市の考え方を伺います。

答 公用車は、一般車両として、乗用車、ライトバンなど31台を保有しており、このうち大気汚染物質の排出が少ないハイブリッド車を2台導入しています。公用車の更新は、業務への適応性、経済性などを考慮して車種を選定しており、電気自動車は二酸化炭素や排気ガスを排出しないことから環境性能に優れ、燃費などのランニングコストも軽減されることは認識しています。しかし、ガソリン車などと比較した場合、国の補助金を活用することができませんが、車両本体が高額で車種も限られ、充電設備も必要となり、道内の市町村において導入は進んでいない状況です。今後、導入に向けた環境が整った段階で検討してまいります。



電気自動車の急速充電器

問 電気自動車の導入を取り組んでいる道内自治体は少ないですが、道の駅などに充電器の設置も進みつつあります。更に、電気自動車は、災害時の電源としても利活用できることから、改めて導入の考えを伺います。

答 ハイウェイオアシスに急速充電器の設置が進められており、電気自動車普及の環境は整えられつつあります。災害時、電気の供給源の活用は有効な手段であり、今後、公用車の更新の際、導入に向けた環境が整った段階において、検討を進めてまいります。

オアシスパークの 有効活用について

市民の声

小黑 弘

問 8月8日、砂川S.Aスマーティンターチェンジが開通しました。中心市街地の活性化に繋げるには子どもの国から家族連れをオアシスパークに導く施策が重要です。今後におけるオアシスパークの有効利用に管理棟の活用、コテージの建設、旧ゴーカート場の有効活用、キャンピングカー用の駐車場など知恵を絞らなければならぬと思います。市長の考えを伺います。

答 遊水地管理棟は河川、市民交流に関わるものは、施設の一部を無料で借りることができ、各種イベント等の活用も見込まれます。また、コテージやキャンピングカー用の駐車場は、人件費を含めて維持管理費が多額になるため、当市が建設するのは難しいです。平成17年度から廃止している旧ゴーカート場の活用方法は、今後についても市民の皆様からの要望や事業費、維持管理費などから検討したいと考えています。



オアシスパーク

問 その条例はどのような内容になり、いつ頃制定されるのか伺います。

答 市、市民、事業所等が力を合わせて飲酒運転を撲滅する取組を進めるため、条例の制定を検討しています。条例制定の時期は、条例の原案策定に向け、幅広く意見を聴き、北海道が策定する条例との整合性を見極めながら、適切な時期に提案できる準備を進めています。